

すくすく園では、お子様が病気の回復期にお預かりしています。普段は元気いっぱいの子ども達も疲労で体調を崩すこともあります。ご家庭でもかかりやすい病気についての症状と正しい対応を知っていればあわてずに済みます。鳥取県中部感染症流行情報を参考にいただき、手洗い、消毒、うがい、マスク着用を徹底しながら病気に負けないように体調管理を心がけていきましょう。

鳥取県中部感染症流行情報

疾病名	第1週	第2週	第3週	第4週
インフルエンザ	×	×	×	×
感染性胃腸炎	○	○	◎	◎
水痘（水ぼうそう）	△	×	×	×
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	×	×	×	×
手足口病	△	×	×	×
ヘルパンギーナ	×	○	○	○
咽頭結膜熱	○	×	◎	△
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	×	×	×	×
流行性角結膜炎	×	×	×	×
マイコプラズマ肺炎	×	×	×	×
伝染性紅斑	×	×	×	×
RSウイルス感染症	×	×	×	×

★警報発令中

◎流行している

△散発

○やや流行している

×患者発生極少又はなし

今月の気になる病気

ノロウイルス感染症

* 症状 24～48時間の潜伏期間を経て発症するとされています。

初期症状は主に**突発的な嘔吐を繰り返す・水っぽい下痢・38度くらいの発熱・腹痛**です。

通常2～3日で治まり、1週間ほどで感染の心配はなくなります。

* かかってしまった時の対処法

抵抗力の弱い乳幼児や高齢者が感染すると、「脱水症状」になりやすいので、症状が少し落ち着いた時に少しずつ水分補給を行ってください。（乳幼児の場合、ジュースや牛乳などの濃い飲み物を与えたり、一気に飲ませると吐き戻してしまうことがありますので注意してください。）

脱水症状がひどい場合には、病院で点滴を行うなどの治療が必要となります。尚、下痢症状がひどいからと言って、強い下痢止めを服用すると、ウイルスが腸管内に溜まり、回復を遅らせることがあります。

ヘルパンギーナ

* 症状 潜伏期間は3～6日

39℃以上の熱が1～3日続くと同時に、のどが赤く腫れて小さな水疱がたくさんできます。水疱は2～3日つぶれて黄色い潰瘍になります。のどの痛みが強いために、食事や飲み物を受けつけなくなることから、「脱水症状」を起こすこともあります。

◇感染症予防策

- ・しっかり手洗い・消毒し、感染をストップさせましょう。
- ・うがいでしっかり予防しましょう。
- ・感染拡大防止のため、洗浄・除菌を行いましょう。

